

2008年3月期 中間決算説明会

蛇の目ミシン工業株式会社

2007年11月15日

将来予想に関する注意事項

本資料で記述されている業績予想ならびに将来予測は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。そのため、様々な要因により、実際の業績は記述されている将来見通しとは異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。

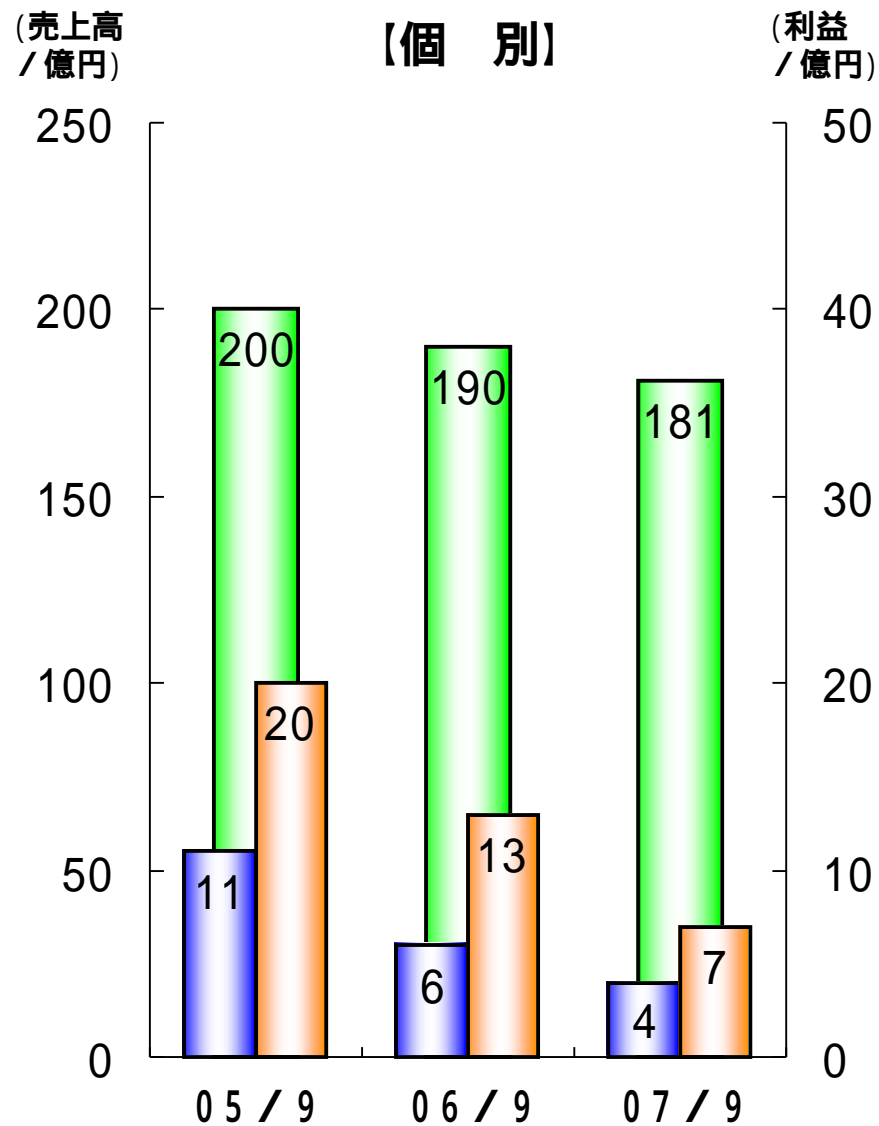
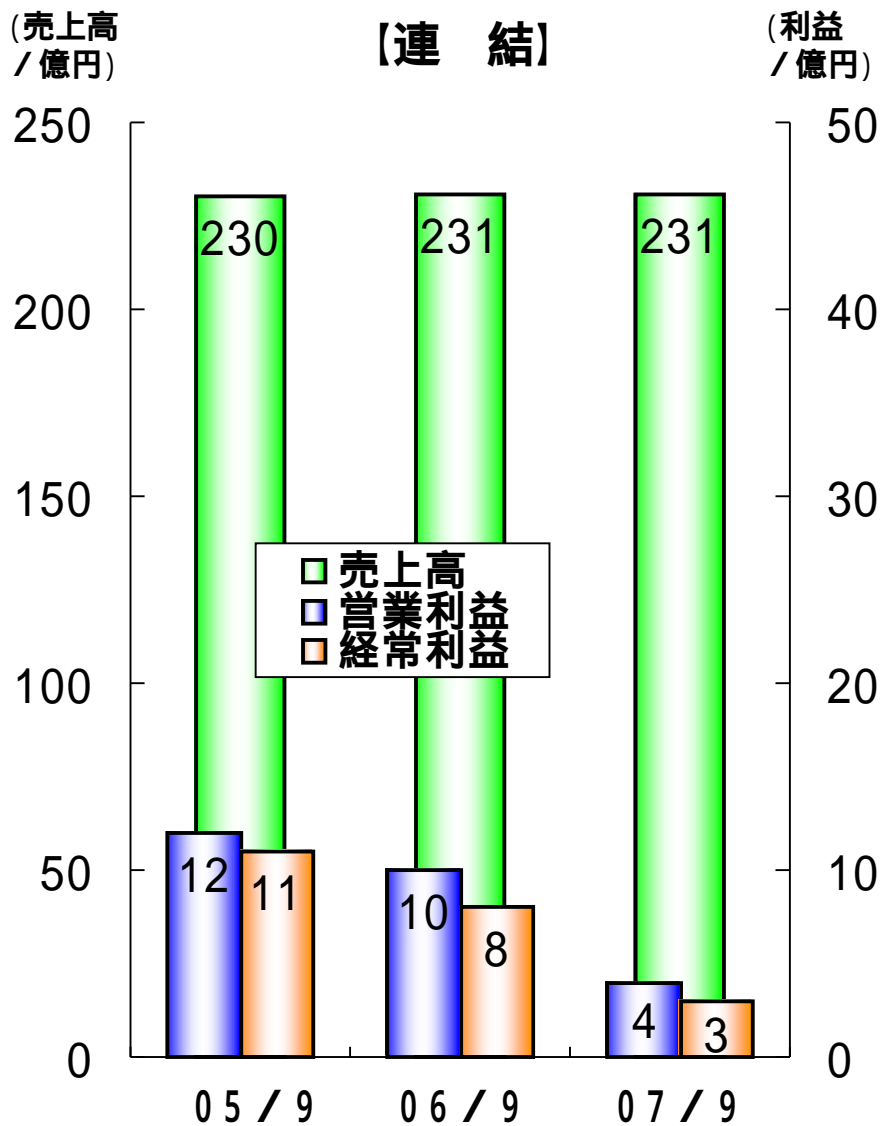
中間決算概要

中間期業績

単位：億円

区 分		2006年9月 中間期 実績	2007年9月 中間期 実績	増減率 (前年同期比)
連結	売上高	231	231	0.1%
	営業利益 営業利益率	10 4.1%	4 1.8%	56.4%
	経常利益 経常利益率	8 3.6%	3 1.3%	63.1%
	中間純利益	2	4	-
個別	売上高	190	181	5.0%
	営業利益 営業利益率	6 3.3%	4 2.1%	39.6%
	経常利益 経常利益率	13 6.9%	7 4.1%	43.2%
	中間純利益	8	2	77.3%

中間期業績推移



為替レート (円/US\$) 109.48 115.37 119.32

中間期決算概要【連結】

国内販売の想定外の落ち込み

原材料価格の高止まりの影響

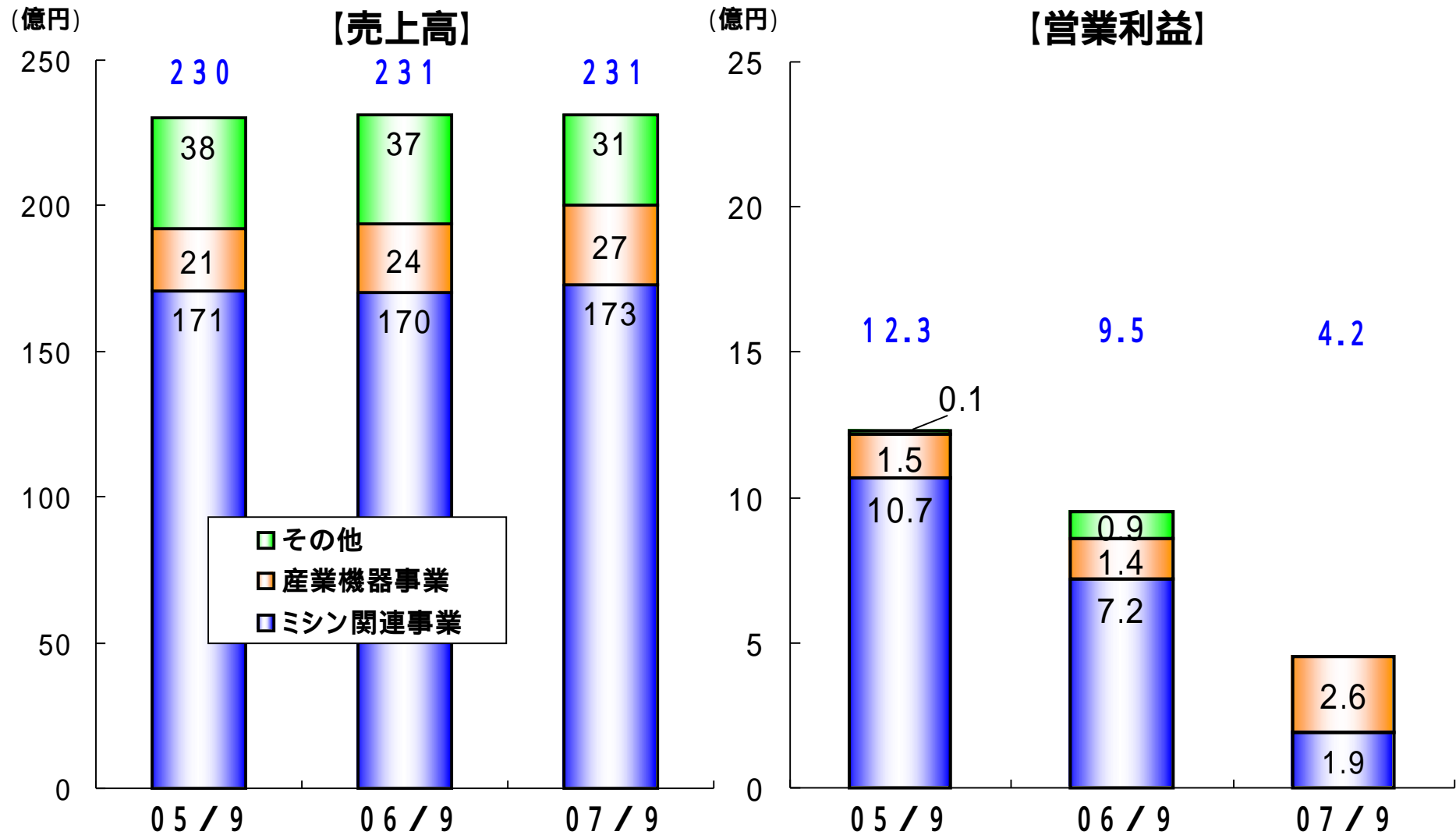
M & A効果の遅れ

投資有価証券評価損の特別損失計上

海外子会社の配当実施による法人税額の増加

(中間決算短信 3～4ページ参照)

セグメント別売上高・営業利益の推移



* 「その他」は、24時間風呂、情報処理他サービス事業。

* 07/9のその他の営業利益は±0億円

セグメント別概要

ミシン関連事業

新たに連結対象会社に加わったエルナ グループの売上貢献もあり、売上高は増収となった。

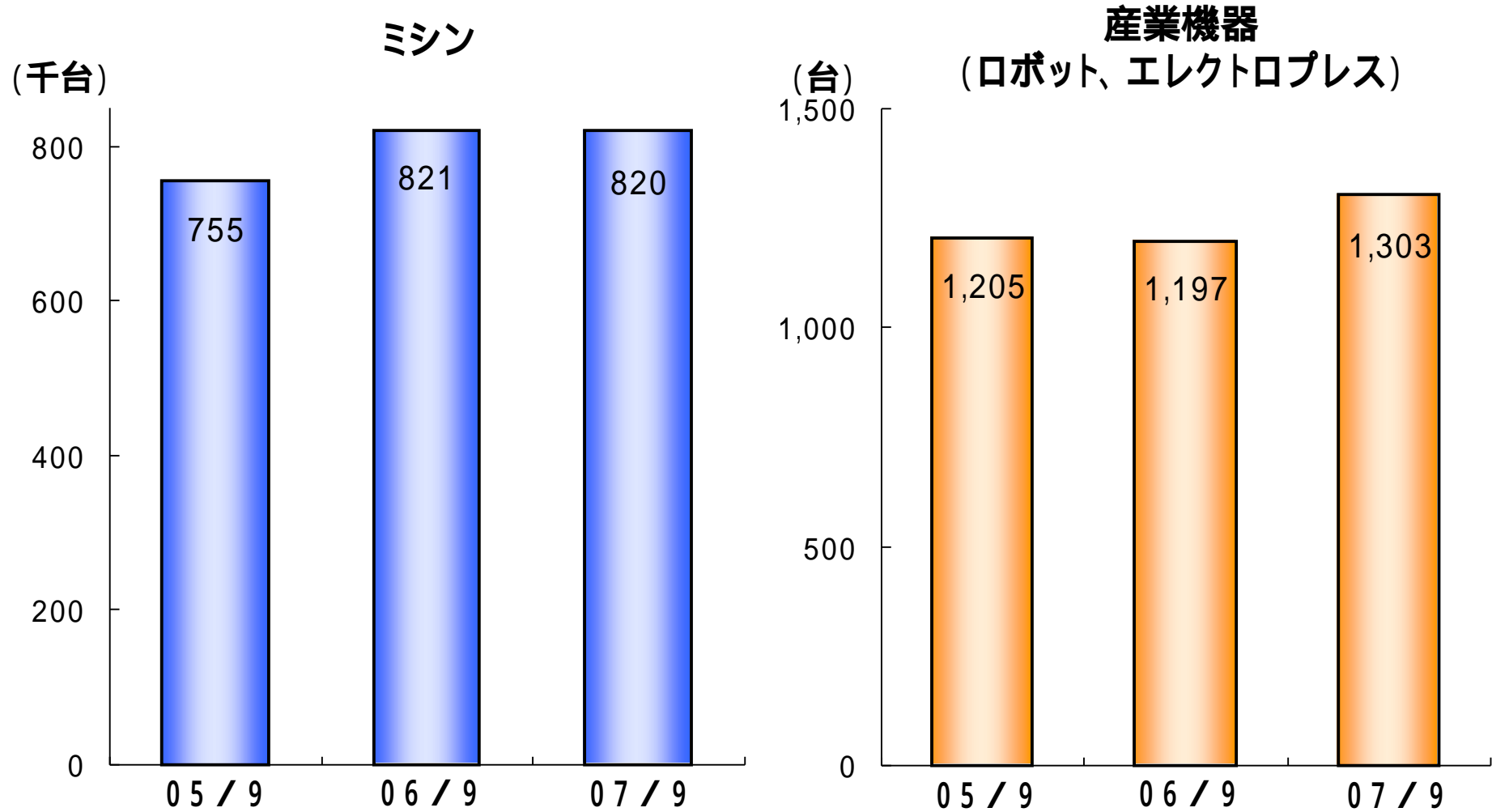
しかしながら、高収益機種の売上不振、国内販売の落ち込み等により、営業利益は前期に比べ大幅減となった。

引き続き、顧客ニーズに応える新機種の開発及びミシン関連ソフト等の充実を進めると共に、新規市場開拓、代理店に対する販売支援強化等、積極的な販売促進に努める。

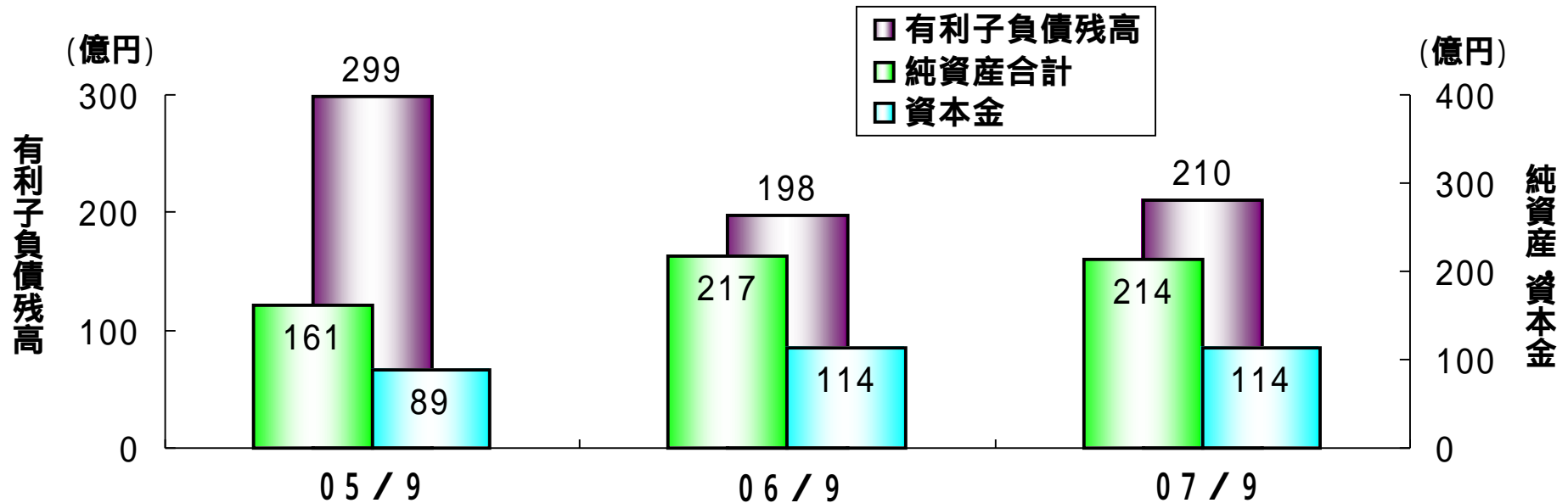
産業機器事業

主要商品の卓上ロボット、スカラロボット、エレクトロプレスの販売は自動車関連、携帯電話関連を中心に順調に推移。また、アルミダイカスト鑄造加工事業に新たに1社連結対象会社に加わったこともあり、増収増益となった。

セグメント別連結売上数量推移【中間期】



純資産、有利子負債残高推移



純資産

本年6月に実施した、自己株式の取得による支出(3億2千万円)で、前期と比較して3億円の減となった。

有利子負債残高

前下期において八王子地区再開発、ジャノメ ダイカスト再開発、ジャノメ ダイカスト タイランド工場増設用地取得、今期においても、引き続いてダイカスト再開発、及び J'sビル名古屋(名古屋市)の建替等、総額22億円の積極的な設備投資を行ったため、前期比12億円の有利子負債増となった。

2008年3月期 通期業績見通し

通期業績予想

単位：億円

区 分		2006年3月期 実績	2007年3月期 実績	2008年3月期 予想
連結	売上高	493	487	500
	営業利益	30	20	22
	営業利益率	6.1%	4.1%	4.4%
	経常利益	26	19	18
	経常利益率	5.2%	3.8%	3.6%
	当期純利益	24	5	3
個別	売上高	382	374	365
	営業利益	17	11	10
	営業利益率	4.4%	3.0%	2.6%
	経常利益	23	21	17
	経常利益率	6.0%	5.5%	4.7%
	当期純利益	25	10	7

通期 業績予想



(売上高 / 億円)

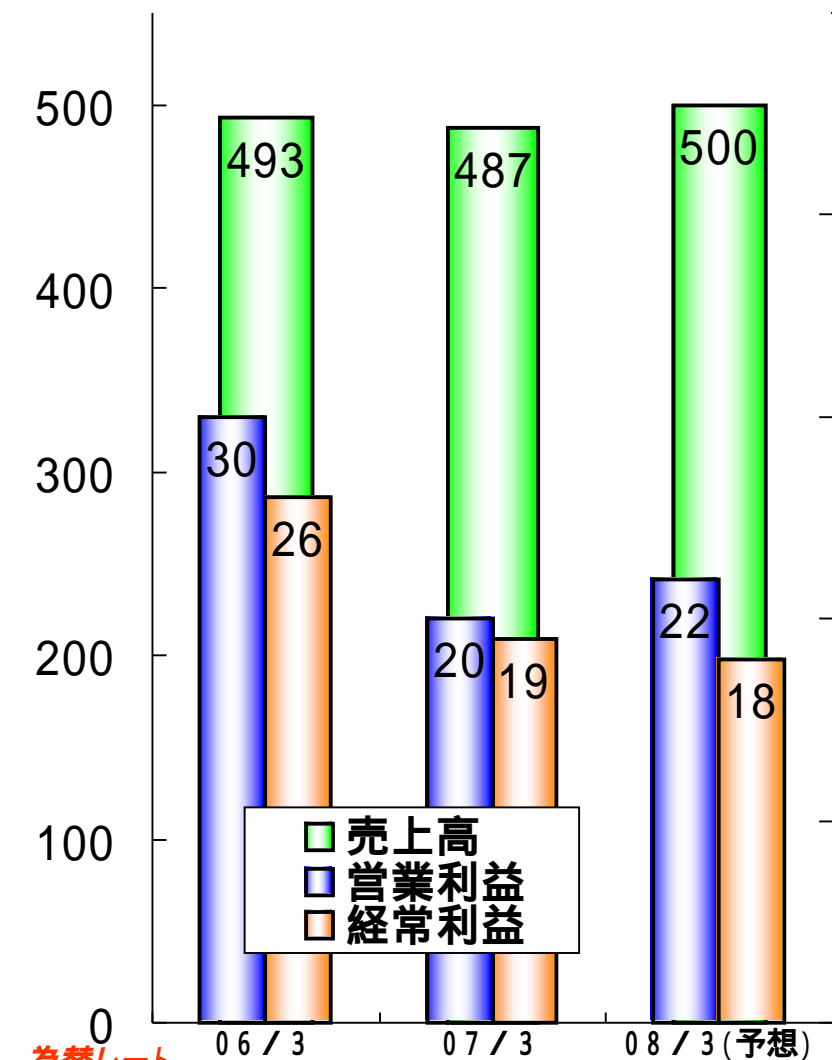
【連 結】

(利益 / 億円)

(売上高 / 億円)

【個 別】

(利益 / 億円)

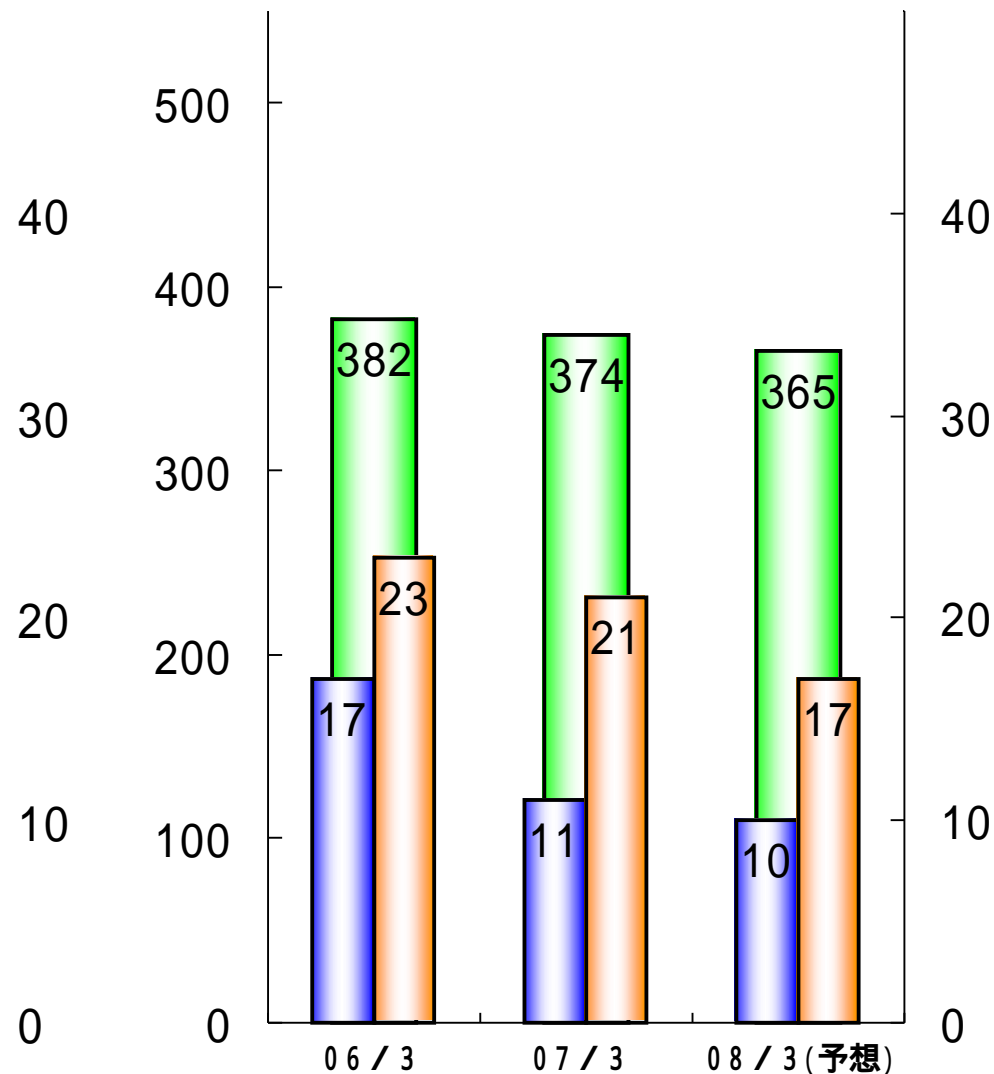


為替レート (円 / US \$)

113.31

116.97

117.16

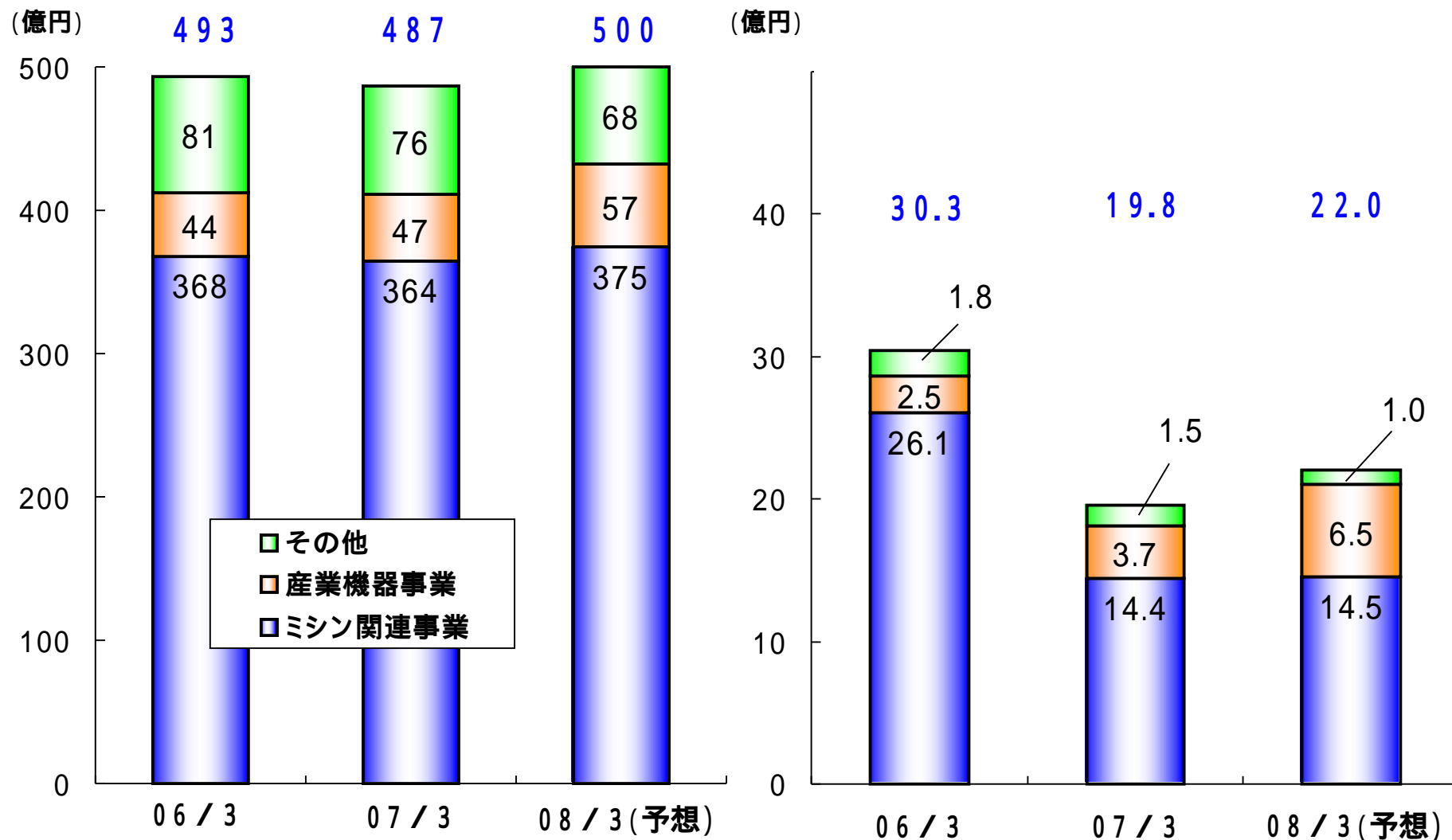


セグメント別売上高・営業利益の予想



【売上高】

【営業利益】



*「その他」は、24時間風呂、情報処理他サービス事業。

セグメント別概要

ミシン関連事業

- ・第三者に供与していたエルナ製品の独占販売契約の解消完了
海外販社並びに国内を含む、ジャノメ既存の販売網を活用してのエルナ製品販売の拡大と利益貢献。
- ・クリスマス商戦
海外ミシン販売の最盛期であるクリスマス商戦において、ジャノメ、エルナの2大ブランドの有効活用、既に市場投入した新機種の本格稼動、等による販売拡大と利益貢献。
- ・国内販売の減少の底打ち
訪問販売をめぐる法的規制の強化により、国内販売は苦戦を強いられていたが、販売減少傾向も底を打ったことから、Jスタッフ制度の活用等による営業部隊の強化と合わせて、販売拡大を目指す。
- ・エルナプレスの市場拡大
11月にエルナプレスを国内市場に投入することにより、販売の拡大と訪問販売部隊の活動の活性化を図る。



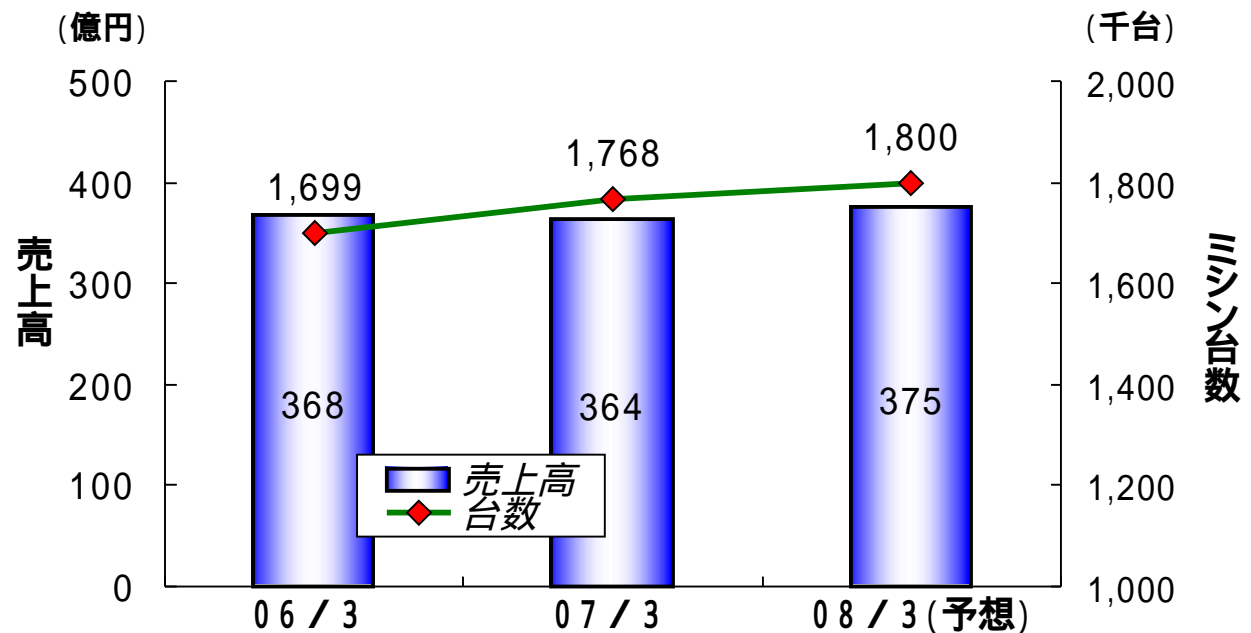
- ・エルナ買収効果

ジャノメ、エルナの2大ブランドの活用

エルナ プレスの国内市場投入(11月)による
販売の拡大と販売員の活性化

- ・Jスタッフ雇用形態多様化による国内営業部隊の強化

- ・モノづくりの楽しさ普及によるミシン需要の喚起。国内ソーイング教室展開55店(07年11月現在)



エルナ買収効果



07/9中間期 実績

単位:百万円

	エルナ販社	既存の販売ルート(注)	合計
売上高	869	138	1,007
のれん代償却	73	-	73
営業利益	107	44	63

08/3下半期 見込

	エルナ販社	既存の販売ルート(注)	合計
売上高	1,110	208	1,318
のれん代償却	73	-	73
営業利益	40	93	53

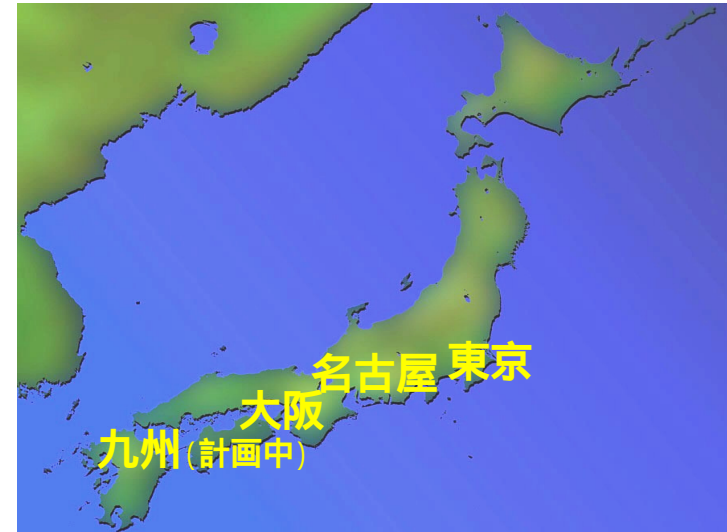
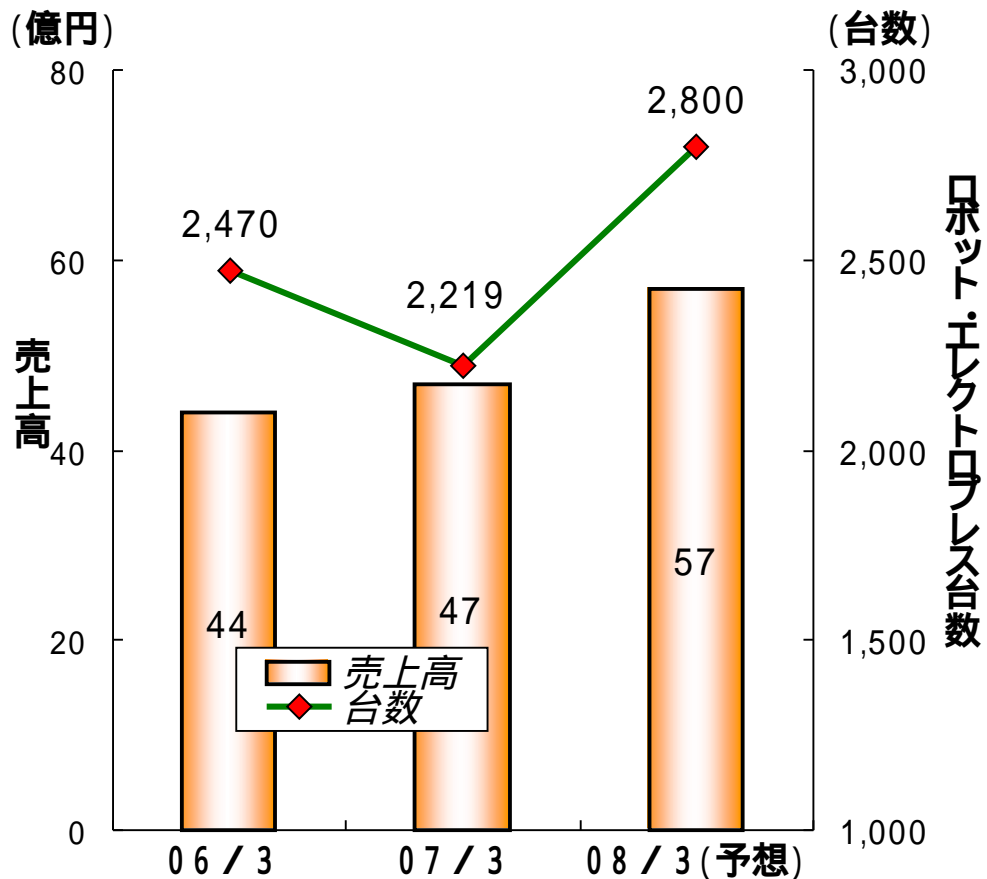
08/3期 通期見込

	エルナ販社	既存の販売ルート(注)	合計
売上高	1,979	346	2,325
のれん代償却	145	-	145
営業利益	147	137	10

注: ジャノメ既存の販売網を活用してのエルナ製品販売による増加

産業機器事業

- ・国内外にサービス拠点を設置し、サービス体制の充実を図り、販売の拡大を図る。
- ・アルミダイカスト鋳造加工事業において、山梨・兵庫・タイの3拠点を有効に活用して、事業拡大を図る。



生産効率の向上

生産稼働率の平準化のため、生産機種の生産拠点複数化を図る。

再開発計画

東京工場新2号棟(八王子市)、ジャノメ ダイカスト新1号棟(山梨県都留市)が完成。また、きめ細かい営業、サービスの拠点としてJ'sビル名古屋(名古屋市)建替。高精度の生産体制整備に向け、更に建物設備の更新を進める。

東京工場 新2号棟



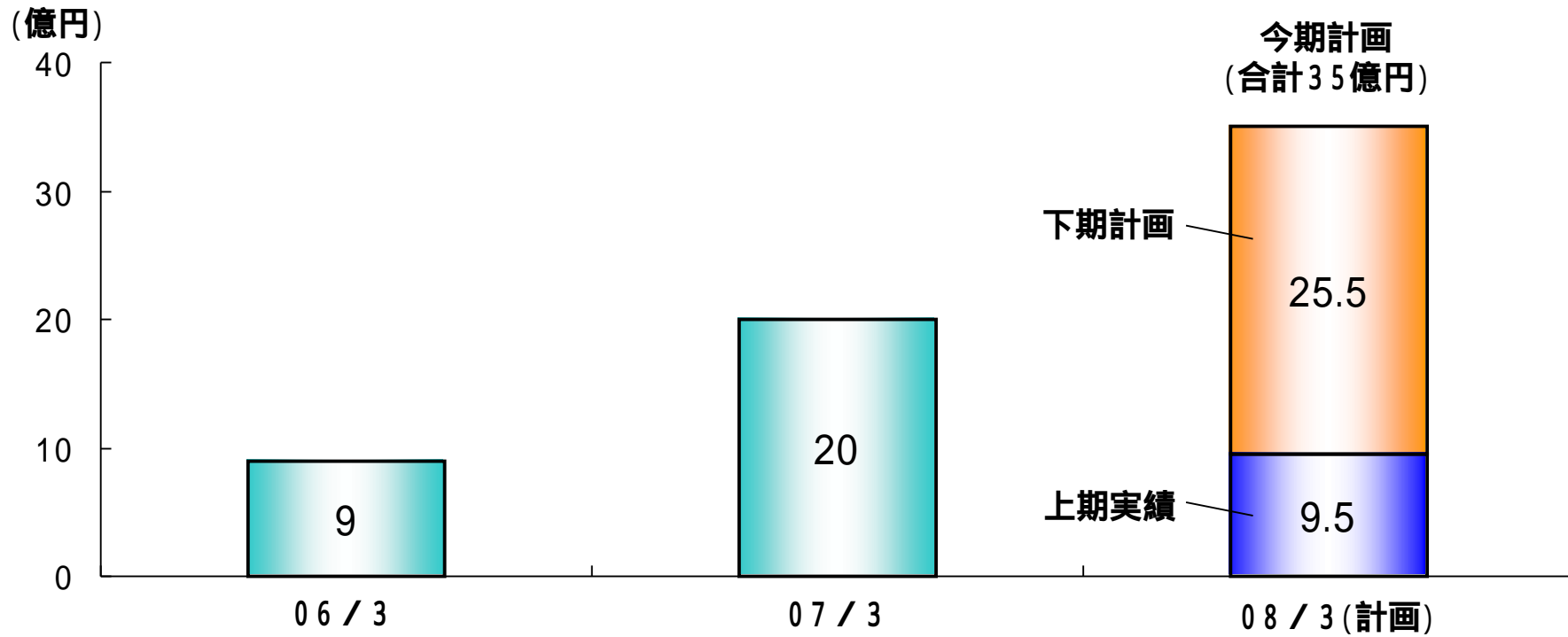
ジャノメダイカスト 新1号棟



J'sビル 名古屋



設備投資の計画



【下期計画内訳】

国内: 19.6億円 台湾: 2.9億円 タイ: 2.9億円

蛇の目ミシン工業株式会社